



DAMANHUR

ダマヌール日本ニュースレター

ぽぽろ



Japan  
DAMANHUR in the world

《 第49 新春号 》

発行 ダマヌール日本  
発行日 2020年1月11日  
<http://www.damanhur.jp>

# POPOLO

新春号

## ダマヌールコミュニティー訪問記



マジーラヌークレオ

### はじめに

2019年秋、ダマヌール日本の現地体験セミナーに参加し、コミュニティーを見学しました。ダマヌールのコミュニティーは1箇所集中ではなく、25km範囲の緑豊かな谷間や森の地域に約20のコミュニティーが点在し、地域に溶け込んでいるのが特徴です。

今回訪問したのは、首都ダミールから車で30分程、緑豊かな山あいにあるコミュニティー。ここは4つのヌークレオ(家族)で形成されており、それぞれが独自のプロジェクトを持ちながらも「水との共存」をテーマに共同しています。

なぜならこの地域は、古代から水の要素との繋がりが強く、水が豊富な場所だからです。そして人間が、すべての生命の源である「水」の要素をもっと尊重し、調和的に共存できるように、私たちのより良い生き方を提案し発信し続けています。

では実際にどのようなコミュニティーなのか、訪問してみましょう。

### デンデラ ヌークレオに到着

車で到着すると、ガイドのナンドゥさんが笑顔で迎えてくれました。そして最初に案内してくれたのが、ヌークレオの「挨拶の木」です。その木にご自分が額をつけて挨拶された後、私たちにも「よかったですどうぞ」と言われました。

ヌークレオには必ず「挨拶の木」があり、出入りする度に皆が挨拶を欠かしません。ダマヌールの哲学では、この星で人間は他の存在と共に生きる一員であり、調和が不可欠です。植物や自然の精霊の世界との調和を取り戻すために、私たちが意識して行動し続けることを、挨拶という形でも実践しているように感じました。

### 空気の祭壇

その近くには「空気の祭壇」があり、聖なる言語で空気と書かれていました。コミュニティーのテリトリーには、必ず『火、土、空気、水』の4つの要素に捧げた祭壇があり、人類の神殿のそれぞれの部屋にも、同様にあるとのこと。ダマヌールでは、年

に一度それぞれの要素の日があり、コンタクトを意識して過ごしています。



水の祭壇

#### 水の伝説

この地域には古代から伝わる水の伝説があります。それは、この地の妖精が「再び人間が調和的な状態に変わるまで、私は眠り続けます」と言って眠ったというもの。ダマヌールの人たちは、再び、自然と人間が共存できる場所としてやり直すためにこの地を買い取り、寝ていた妖精を起こす儀式を続けていました。そして今も水源を絶やさぬよう守っています。

### エコロジカルな家に挑戦

続いて家の中に入りました。購入時は小さくてボロボロだったそうですが、エコロジカルで安全な材料を使い自分たちで造りたいと、4年程かけて改修したそうです。ダマヌールで初めて建築部門を立ち上げ、最初は下手でしたが、徐々に上手になっていったとのことでした。ダマヌールでは最初から「無理・不可能」と決めつけることはなく、やってみよう！いつか必ずできる！と失敗も糧にして進みます。

#### エコロジカルな家の実験

デン德拉ヌークレオでは、自然素材のわらで造る『ストローハウス』、土のうを積み上げて自然災害時でも素早く造れる「土のうの家」、自然と調和的に暮らす『木の上の家』などの実験に取り組み、その研究成果を世界に発信しています。

### 家の構造

広いキッチンと、リビングには15～20名前後が一緒に食事をして話し合えるテーブルと椅子があります。週に何度も顔を見ながらいろいろなことを話し合うのが、生活の基本です。以前訪問したことのあるコミュニティーでは、深夜までプロジェクトや、個人が抱える問題の解決に向けて、熱心な話し合いが持たれていました。

2階には各個人の部屋があり、2～3人で1つのバス・トイレを共有します。家の給湯や床暖房には

薪が使用されており、家の外にも電気やガスが止まった時のために、薪で煮炊きできるオーブンが作られていました。

### グローバルエコビレッジネットワーク

このヌークレオには、ヨーロッパのエコビレッジネットワークの代表者がおり、ヌークレオの主要なプロジェクトとして、エコビレッジ間の交流促進や、ネットワークの発展強化を掲げています。

毎年夏には、ダマヌールで「グローバルエコビレッジネットワーク」の教育プログラムが開催され、世界各国からゲストが集まります。エコビレッジについて「経済的にどのように成り立つか」「どうやって維持していくのか」といったテーマをいろいろな角度から学ぶ1ヶ月間のプログラムです。4つのヌークレオが共同出資して、ゲストが宿泊できるセミナー施設を建築中でした。

ダマヌールでは、なぜこのような活動に積極的に取り組むのでしょうか？

それは、地球と人類の未来に向けた存続のために、国家に依存するのではなく、世界中が小さなグループのコミュニティー型の社会によって、お互いの違いを尊重しながらも、連携するという世界に変わる必要があると考えているからです。ですから、エコロジカルな暮らし方をするグループが世界中により多く誕生し、存続していくために、自分たちが45年間さまざまな困難を乗り越えて継続させてきたノウハウを、他のグループの活動に役立てて欲しいと思っています。

また、シンクロニックラインが交差するダマヌールで世界各地のグループが交流することで、良いインスピレーションや創造的なアイデアを、地球上の遠く離れた場所へも送ることができます。

### マジーラ ヌークレオ

続いては、自然エネルギーの可能性を探求し、さまざまな実験をしているヌークレオを訪問しました。40年以上前に購入した当時のマジーラは、沼地のため湿気が多く、苔が生えたボロ家だったそうです。どうにかして皆が住めるようにしようと、まずは仲間の二人が住み始め、賛同する人を集めて、ヌークレオになりました。しかしまだ水も電気も引けておらず、自分たちでいろいろと考えて試していくうちに、太陽光発電(ソーラパネル)や給湯、水の自給自足などができるようになったそうです。そうして徐々に設備を整えていき、今の家を作り上げたと聞きました。

ダマヌールの哲学では、思い描いた理想は、机上の空論として頭の中に留めるのではなく、実用的に役に立つ形で、現実化させることが大事だと考えています。手を使って創造することは、内面の神聖さに近づいていく道なのです。

他にも敷地内には「宇宙衛星から受信した太陽光線の角度や方向に関するデータを元に装置の向きや角度を変えることで、太陽光線を最大限に捉えてエネルギーに変換する装置」がありました。これなら曇りでも最大限光線を収集してエネルギーに変換でき、電力の供給が可能なのです。

また、家の下にモーターが付き、屋根の上のソーラーパネルに太陽が最もよく当たる角度になるように動く家もありました。

さらにこの地域の豊富な湧き水を集めてため池を作り、周囲で野菜を栽培するパーマカルチャーの技術をポルトガルのコミュニティーから習ったり、温室栽培をオーストラリアのゲストに習うなど、世界各地からの訪問者とコミュニティーに役立つ技術を交流しています。そして風土や条件が異なる場所でも活用できるかをダマヌールで実験しているのです。

ダマヌールは地球を網の目のように取り巻き、情報や考えを運ぶシンクロニックラインが、4本も交差する特別な地点にあり、シンクロニックラインを通じて地球全体に自然と共存するためのポジティブなアイデアや、役に立つ実験成果などを、地球と人類の進化のために日々送り続けています。

その想いと自覚があるからこそ、ダマヌールの人たちはたとえ困難な状況や、うまくいかない場合でも、体験から学び、自分たちの役割や使命を決して諦めることなくポジティブに取り組んでいるのだと思います。



参加者から「なぜダマヌールは45年も続いてきたのですか？」という質問がありました。その説明は、ダマヌールが「人類のために」という大きな理想を持っているから、そしてそのためには「一人ひとりが変化して成長すること」をベースにしているということでした。

その時ふと『なぜ、ダマヌールは変わり続けられるのだろうか？』という疑問が湧いてきました。

その答えは、見学の終盤、引っ越しについての話の中で聞くことができました。長年同じプロジェクトに取り組んでいた場合、もう十分学んでやりきったと感ずることがあり、ダマヌールには、多種多様な異なったプロジェクトがあるため、違うプロジェクトに変わることは珍しくないそうです。そしてもしも自分が新しくやりたいことを見つけて、周囲の人が賛同し

ない場合、一緒にやる人を募ることができること、それがダマヌールの特徴だと話されていました。

そしてダマヌールは、一人ひとりが、何が必要かに応じて変わる、それが自然だと話されていました。

そして、ある時ファルコさんから「みなさん、目を閉じてよく自分の中を見てください。今、本当に幸せですか？自分が変わり続けて成長していると言えますか？そうでないなら、変わる時です。変わるべきだけ少し停滞していると感じる人は、変わらましよう。」という話しがあったそうです。



ガイドのナンドゥさんは語りました。

『ダマヌールは妥協なく、本当に皆が幸せだということを実現するためのコミュニティーを目指しています。一人ひとりが妥協してはダメです。そのために挑戦しよう！と、かつて新たなプロジェクトを求めてヌークレオを移る人が大勢でました。その動きが波及して一度に200人も人が引越すという大きな変化がありました。妥協して、もうこれ以上求めてはいけなくと考えること、それは本当の幸せではない。もっと何かできるかもしれない、もしかしたらこの夢が叶うかもしれない。挑戦してワクワクしている時に幸せがある。それが私たちの幸せ。』

これを聞いた時、確かにそうだと思います。私たちは、何か楽をして楽しい時が、幸せだと思いがちですが、実は、何かに夢中になって挑戦している時、手応えを感じている時が本当に幸せと言えるのだと思います。

自分の魂からの本当の望みである夢は何でしょう？他の人のためになり、心から幸せを感じられることは何でしょう？

ダマヌールでは、大きな夢ほど叶いやすいといえます。強く願うこと、同じ夢を持つ仲間と力を合わせれば奇跡も可能になる、それがダマヌールの45年間の歴史です。

ダマヌールは生涯現役の社会で、高齢者も生き生きと暮らしています。高齢化や介護問題はありますが、孤独死や孤立とは無縁の、互助と連帯をベースとした社会です。もちろんさまざまな問題もありますが、私たち日本の現状からみて学べることも多くあると思います。

是非あなたもダマヌールのコミュニティーを訪問して、直接肌で感じとってみてください。

# 木の活性化に参加して

今回の木の活性化は、忘れられない日となりました。「私も木の活性化に行きたい」と打診したところから始まり、10月14日の長野へベテランメンバーの方と出かけました。羽島でクオンさん、カズアリオさんとコーギーさんと合流し、長野でガロさんに合流。活性化が終わったエリアが発電所のようにエネルギーを放射するのを目の当たりにし、リアルタイムで変化する森の状態に開始前から興奮状態でした。とにかく今回は、足を引っ張らないように、足手まといにならないように、というのが目標でした。

最初の神社では、以前できなかった区域の活性化でしたが、ベテランメンバーの方のあとからついていくのが精一杯でした。樹々たちはウキウキしながら私たちを出迎え、「もう1回！」「私まだよ！」とあちこちから声が飛んできました。2か所目は全体を把握してから活性化に入りました。この神社の樹々たちは「うわあ、こんな所まで来た」と驚くと同時に、「待ちきれないの！早くお願い！」と樹々たちのリクエストからのスタートとなりました。ペンデュラムでも3倍活性化にかかり、小走りでも樹々たちを回りましたが、樹々たちからリアルタイムで飛んでくる声をきいていると、スピードを落としてその手を緩めるわけにはいきませんでした。

その後は山頂に移動し、小休憩。そこからクオンさんとカズアリオさんの活性化が始まりました。この方法は、もうファルコさんがいないので限られた人



たちしかできないそうですが、それぞれの役割があつてのチームプレーは絶妙でした。初めて参加した木の活性化は、こうして終了しました。

今まで数々のスピリチュアルスクールに通っていた私は、ダマヌールのすばらしさを理解してはいても、「今更スクールに通っても」という気持ちがどこかにはありました。しかし、この日の様々な貴重な体験は、そんな一抹の懸念を払拭するには充分でした。

樹々たちとの協働関係を取り戻すという体験は、今までの人生観を覆すような衝撃的な体験だった。そしてその日の夜、私は失ったものに対する悲しみを手放した。深い感謝とともに。(E.S)

## スピリチュアル(秘教的)物理学への勧め

私は誰？なぜ生まれたの？死んだらどうなるの？私たちはどこに向かっているの？約40年前、ダマヌールの創始者たち13人はこれらの疑問を持っていました。そして、秘教の知識を基に研究と検証を重ね、今日では「スピリチュアル物理学」セミナーでこれらの答えを一般の方々へ提供しています。

2003年、万物は原子でできていると学校で習ったのは間違いだったことがわかりました。NASAの宇宙探査機による観測結果として発表されたのは、宇宙の年齢は137億年で、宇宙組成として星と銀河は0.5%、ニュートリノは0.1~1.5%、通常の物質(原子)は4%、暗黒物質(ダークマター)は23%、暗黒エネルギー(ダークエネルギー)は73%でした。

つまり、原子で構成される通常の物質はたったの4%であり、宇宙の96%を占めるのは暗黒物質や暗黒エネルギーで、解明できていない未知の物質やエネルギーだったのです。暗黒というと悪いイメージがあるかもしれませんが、これは解明できないため仮の名前です。このように、現代科学で常識として信

じていたことは常に変わります。

スピリチュアル物理学の面白さは、現代科学の枠を超えたところにあります。物質の中だけに留まらず、今の科学の前提にはない異なった微妙なエネルギーや宇宙の法則を扱います。これは現在の量子物理学がもっと進んだ先の分野と言えるでしょう。

私たち一人ひとり宇宙にとってかけがえのない存在です。さまざまな種や存在たちと調和的に共存する、物質偏重から抜け出し精神性の成長と進化を目指す、ポジティブに生きる、知識を学びそれに基づいて行動し変化を生み出していく…昨今の自然環境、政治、経済などの危機的状況の中で、永續可能な未来に向けて私たちができることは何でしょうか。

スピリチュアル物理学はダマヌールの主要な哲学であり、基本原理はあなたの想像を超えて新しい世界へと誘います。ダマヌールを学びたい人にとっては必須のセミナーです。是非、ご参加ください。2月15日(土)16日(日)、神戸でお待ちしております。

# ヒーラーだより

神戸センターより、プラノセラピーを受けた方からの体験談が寄せられましたのでご紹介します。

## プラノセラピーを受けて

偶然、ユーチューブでダマヌールのことを知り、こんな世界がイタリアにあるんだなあとそのホームページを調べていたら、プラノセラピーというエネルギーのセラピーをやっていると知りました。そして、何かピンとくるものがあったので受けてみることにしました。

始めの方の数回は、セラピーが始まって直ぐに、体がエレベーターでグリーンと下がって行く感覚があり、知らないうちに寝てしまいました。その時、夢を見ていたのか、色々な映像が出てきました。顔を白塗りしたファルコさんやドアから龍の頭が出ている光景だったり、自然の景色などが出てきました。そして、タイマーでハッと起こされるという具合でした。

しかし、7～8回くらいからは、寝ることは少なくなり、エネルギーが体の中を循環している感覚がするようになりました。新しいエネルギーで充電された感じでした。また、日常生活でも色々と変化が起こってきました。仕事では新規のお客様が来られるようになったり、ラジオ、講演などの出演依頼が来たりと、前向きなエネルギー循環が起こっているような感じでした。

約2ヶ月で11回セラピーを受けてみて、プラノセラピーは、生命を生かす 根源的なエネルギーを取り入れるもので、根源とのパイプをつなぐものなの

だなあと思いました。単に体の不調が良くなるとかのレベルではなくて、もっと根源的で宇宙レベルのエネルギーの循環に関わるもので、肉体や心、人生などが宇宙のエネルギーの流れに沿って上昇していくのをサポートするためのツールのようなものだと思います。また、定期的に受けてみたいと思います。(A.O)

### ダマヌールのヒーリング プラノセラピー

プラノセラピーはダマヌールの自然医学の中で主要な役割を担う安全でパワフルなヒーリングです。

オーラ、肉体、魂の全てに良い影響を及ぼし、特にバランスの崩れている部分に集中して流れ、全体のバランスを取り戻します。スピリチュアルな成長がしたい、体も心も美しく健康でいたい、夢を実現させたい方にプラノセラピーをお勧めします。

プラノセラピーは、神戸センターとイピアルの他、各地で受けられます。「体験会」も各地で開催しています。詳細は下記までお問い合わせください。

#### ●プラノセラピーに関するお問合せ先

ダマヌール日本神戸センター  
0798-23-9161  
damanhur-kobe@s5.dion.ne.jp

ダマヌール日本支援ネットワーク イピアル  
052-683-8233  
jpjal@crux.ocn.ne.jp

## ぽぽろニュース

### ダマヌールからインデが来日

ダマヌールで生まれ、義務教育はダマヌールのプライベートスクールで受け、その後、トリノで高等学校を終えるまでダマヌールの社会で成長してきた21歳の女性、インデさんがお母さんのアンティロペさんと並行して初来日しました。

### 木の活性化2019

2019年の木の活性化は、目標である12個所のポイント(1500本以上)を冬至までにつくりました。新たに加わった場所は、岡山、滋賀、長野、群馬などです。活性化に興味をお持ちの方はご連絡ください。共に拠点づくりをしませんか？

### スピリチュアルヒーラーの学校

～日本人9人のヒーラーが誕生します～

ダマヌールでは2020年1月3日現在、日本から9人



の参加で3年年目の講義が続いています。イタリアから1人、ドイツから3人、計13人のクラスは、大晦日も元旦も

一日中講義が行われました。精神的成長の指針を実用的に使う講義に目をみはり、仲間と行うエクササイズではお互いを支え合うことが喜びになりました。音楽のダイナミクスの授業では、時空間を超えた表現に「初めてとは思えない」と褒められて嬉しかったです。また、スピリチュアルヒーラーとは何か、という問いには実践を伴ってこそ実現されるので、これからも研鑽していきたいと思います。5日には卒論の発表会が行われます。指導し導いてくださった多くの魅力的な先生方に感謝しつつ、卒業を迎えています。

# セミナー体験記

## ◇ 「セミテンポラーレ I」を受講して

セミテンポラーレ I は、自分の人生に直接的に影響を与えられる大変意味深い2日間でした。受講してから10日が経過しましたが、セミナーの2日間を起点として日々違う自分を発見しています。

「時」を扱うことで、今迄意識していた自分の人生を構成している要素全体への認識が大きく、また急激に変化してきています。自分と他の世界との境界がどんどん稀薄になり、毎瞬毎瞬新しい自分と出会い続けているような感覚です。その変化は、ポジティブな驚きであり、また今後の可能性に対するワクワク感でいっぱいです。

セミテンポラーレは、セミナー後のワークを続けることで、過去の記憶を書き換え、現在の状態を変容させ、自分が望む人生を生きることを可能にします。今ワーク継続中ですが、過去の記憶の意味づけを変えることで、今の自分に大きな変化を感じています。

今までは、未来のことは考えましたが、過去の出来事はあまりふり返りませんでした。「人生を家に例えると未来はこれから建てる建物で過去が土台で大切なもの」というアンティロペさんの解説は大変腑に落ちました。また「時」そのものの概念の話もとても新鮮でした。

そしてあくまでも個人の感想ですが、思わぬ変化として、自分の人生の時間軸を扱うことで、そこから派生して宇宙全体のさまざまな仕組みに関する膨大な情報へ近づいているような感覚があります。それと、自分の人生を過去も含めて柔軟に考えられるようになったことで、それ以外の事柄に対しても柔軟性が増してきたような気がします。

貴重なセミナーの体験を最大限に活かしていこうと思います。これからどんな人生が待っているのかとても楽しみです。ありがとうございました。(K.K)

## ◇ 「スピリチュアル物理学」を受講して

皆さんはどうやってダマヌールをお知りになったでしょうか？どのような自分の中の衝動にかられてダマヌールに出会いましたか？

この狂った時代で果たして私たちは幸せに生きることができるのでしょうか？

戦争、放射能汚染、電磁波、農薬、化学添加物、遺伝子組み換え食品、マイクロプラスチック、少子高齢化、地震、台風、温暖化…。木の伐採、原生林の減少、森、山、川、草原、沼地、湿地帯、湖、海などが今どんな状態か！

また、生き物は何故生きているのか？そして人間は何故生きているのか？それはスピリチュアル物理学で語られます。私が学んだ限りでは地球は目的があって存在しています。語り切れないくらい想像を超えた世界と目的です。しかし、このままでは耐えられそうにありません。地球はこれからますます災害が増えていくことが考えられます。

個々の人間の幸せよりも、人類の存続や地球全体の問題解決を考えて、一人ひとりが生き方を変えていかないといけない時期にいると私は思います。人間以外の多くの動物や生命体が日々絶滅の危機にある中で人間が絶滅しないと言いきれるのでしょうか？

ダマヌールのスピリチュアル物理学ではその危機的問題がスタートラインになります。人間の絶滅です。それを解決するために、ダマヌールは今を生きています。

私は幼い時からあった自分の中の未来の生活や地球の環境、生命体との関係、夢の宇宙時代とSFの実現とファンタジー。それに対して真実とは違う教育を社会において経験していく中での絶望を経てダマヌールに出会いました。

そして、同じような思いを持っている仲間と出会えることを本当に願っています。(M.S)

## 来日セミナー講師紹介



フェニーチェ・フェルチェ  
(Fenice Felce)

ナチュラルセラピー・ホリスティック健康科学博士。ダマヌール創立メンバーの一人。スピリチュアルヒーラー。スピリチュアル物理学・ダウジング・インナーハーモニゼーション・セルフ学的催眠療法・アストラトラベル

のスペシャリスト、古代エジプト哲学とミステリーの研究者として国際的に活躍しています。その豊かな研究体験と深い理解と幅広い知識にあふれた講演は常に多くの参加者を魅了してやみません。

もっと  
必読! ダマヌールのこと知りたい!

### 「ダマヌール未来への光」

ジュゴン・クスノキ著。ダマヌールで生きる初の日本人女性書いたダマヌールの全貌！  
発行 | ピオ・マガジン

### 「タイムトラベルからみた

### アトランティス (ダマヌール 魔法の科学)」

著者：フェニーチェ・フェルチェ、ジュゴン・クスノキ  
三和導代 発行 | ヒカルランド

\* 書籍に関するお問合せ : [book@damanhur.jp](mailto:book@damanhur.jp)

# 来日セミナースケジュール 2020年2月以降

日本で  
初めて  
開催!

## 2020年2月のミニ講演会

### ★【錬金術とマジック】

in 名古屋 ミニ講演会

講師: フェニーチェ・フェルチェ

開催日: 2月27日(木)

時間: 18:30~20:30

場所: ウィンクあいち 1007号室

交 「名古屋駅」より徒歩5分

参加費: 3,000円

## 2020年2月ワンデイセミナー

### ★【セルフ学 - 螺旋の精神的科学】

in 東京 ワンデイセミナー

講師: フェニーチェ・フェルチェ

開催日時: 2月11日(火祝) 10:00~18:00

場所: 北とびあ 7階 第一研修室

交 京浜東北線「王子駅」北口より徒歩2分  
東京メトロ南北線「王子駅」5番出口直結  
都電荒川線「王子駅前駅」徒歩5分

参加費: 20,000円

お問合せ・お申込み先:

ダマヌール日本Tokyoセミナー事務局 まで  
mail: kanto@damanhur.jp

## 2020年2月のセミナー

### ★【スピリチュアル物理学 I】

in 神戸 2日間セミナー

講師: フェニーチェ・フェルチェ

開催日: 2月15日(土)16日(日)

時間: 両日とも 10:00~18:00

場所: センタープラザ西館6階貸会議室17号室

交 各線「三宮駅」西出口「元町」東出口  
より徒歩5~7分

参加費: 40,000円(事前振込 39,000円)

## フェニーチェのセッション

#### ◆ フェニーチェのグループヒーリング

希望者が3人以上の場合

個人よりもパワフルなグループのプラノセラピー  
を受けられます。

#### ◆ 個人リーディング

マジックな準備がされた特別なタロットカ  
ードや石などを用い、ダマヌールで培った  
感覚の拡大のテクニックを駆使してシンク  
ロニシティーにアクセスし、あなたの質問  
に対し、フェニーチェがあなたの中にある  
完璧な答を引き出していきます。このセッ  
ションは精神的進化のための道であり、人  
生をより良い方向へ加速させるためのヒ  
ントが溢れています。

いずれも要予約。詳細はお問合せください。  
人数に限りあり。お早目にお申込みください。

## 2020年3月のセミナー

### ★【サイエンスフィクションと

スピリチュアル物理学】

in 名古屋 2日間セミナー

講師: フェニーチェ・フェルチェ

開催日: 3月7日(土)8日(日)

時間: 両日とも 10:00~18:00

場所: 名古屋市中小企業振興会館(吹上ホール)  
第7会議室

交 地下鉄桜通線「吹上駅」5番出口より徒歩5分

参加費: 40,000円(事前振込 39,000円)

これは、ダマヌールのスピリチュアルガイドである  
ファルコ・タラッサコが、存命中たった一度だけ行  
ったセミナーです。当時、そのセミナーに参加した  
数少ないメンバーの一人であるフェニーチェが、日  
本で初めてその内容を語ります。またとない貴重な  
チャンスです。この特別なセミナーをお見逃しなく!



魂の進化を加速する

## 現地体験セミナー

日程: 現地時間 2020年

10月28日(水)~11月2日(月)

\* 日本時間 10月28日発 11月3日着

4本のシンクロニックラインが交差する奇跡のパ  
ワースポットに存在する光の都市ダマヌールへ!  
現地ダマヌールでの滞在型セミナーで、ダマヌ  
ールを多角的に体験していただく初訪問者向  
けのプログラムです。ヒーリングや精神性に関す  
る研究をはじめ、さまざまな角度からダマヌ  
ールを体験していただけます。ダマヌールのハ  
ートである「人類の神殿」も訪問します。

ダマヌール日本は、世界中にあるダマヌールのセン  
ターのひとつとして持続可能な社会を実現するための  
情報、より良く生きるための精神的知識やヒーリング  
を日本にもたらすために1999年より活動しています。

来日セミナー・現地体験セミナー等の開催 / メール  
マガジン・ニュースレターの発行 / ダマヌール関連  
書籍やCDの紹介 / クラシックセルフの紹介 /  
ダマヌールのヒーリング / 木の意識の活性化 / ダマ  
ヌールを知る会・セルフティックペインティングを  
観る会等の開催

#### ● お問合せ・お申込み先

ダマヌール日本神戸センター

0798-23-9161

damanhur-kobe@s5.dion.ne.jp

ダマヌール日本支援ネットワーク イピアル

052-683-8233

jpjal@crux.ocn.ne.jp

HP: [www.damanhur.jp](http://www.damanhur.jp)

FB: <https://www.facebook.com/damanhur.jp>

メールマガジン毎週配信中! お申込みはHPから

# ダマヌールのコミック「記憶のトランク」より (10)

ダマヌールの建設に並行して取り組んだのは・・・

①

家は準備ができていませんでしたが、私たちは熱意に満ちていて、本当に皆と一緒に生きてみたいと思っていました...

そこで、オベルトが少し前に買った古い山小屋(バイタ)でのキャンプのアイデアを思いついたのです。

ここも、まさにシンクロニックライン上にある、とても特別な場所なんだ。

私たちが共同生活を試すのはここだよ。この経験は本腰を入れてやることになるだろう。私たちに将来についての貴重な情報を与えてくれるからね。

そして、それができれば...

...この場所はいつの日か神殿となり、そこで人間と神の間に新しい同盟が生まれるだろう。

②

そんなわけで...

一週間のあいだ、ダマヌールがどのようになるのかを全体的に実地でやってみました。

ちょうど山へ小旅行をする必要があったのさ。

うーん...君、わかってないよだね...

キャンプ場  
バイタ

もし村を全部こんなふうに建てたらって、ちょっと考えてみて...

なんて一日だい?

夕食は何かあるの?

そして、私たちの友情を裏付けるために自然の精霊たちと契約を締結した時のように、マジックな瞬間は常に私たちとともにありました。

私たちはこの場所のすべての自然の精霊たちと同盟を結びます。これらの署名で私たちはあなたたちを尊重することを約束し、あなたたちは私たちの栽培を支援することを約束します。  
この契約はすべてに有効です。  
バイタ、1978年6月25日

私たちはこの経験に満足して、コミュニティを成長させるために他のテリトリーを探しに行きました。

③

ヴィドラッコ、ダマヌールのすぐ近く

すみません、そこのお方、この辺りに売りに出ている家があるそうだけど、どこにあるのか教えてくださいませんか?

この人たちが何を望んでいるかわかるものか...この村には見知らぬ人はいないし、我々はうまくやっている...

最初の住民! 感動したわ。

本当に知りませんよ...

しかし、なんでもてなした! 皆もうちょっと友好的だといいが...

ほとんど見捨てられた谷だ。生活や仕事を少し取り戻すためには新しい人が本当に必要だよ。

なんと美しい森! ここなら自然を本当に敬って生活し耕作することができるだろう。

そうだね、僕は実験したい代替エネルギーに関するプロジェクトがいくつかあるよ。

もちろん喜んで。ここからまっすぐ降り行って、つきあたりの木でできた門のところに、間違えっこないよ。

すみません、奥さん、売りに出ている家があると言われたのですが、助けてもらえませんか?

昔のおばあちゃんね。

ちょっとみずぼらしいわね。ここも山ほど仕事が必要よ! でも場所はとてすばらしいわ。

④

この家ですでに私たちのテリトリーは3つになるわ。小さな国の始まりね!

いいね、いいね! この前で大きなテラスで菜園が作れるね... そしてあの壁は塗り直す必要があるだろうね...

...たぶん最初に建て直さないといけない!

そして、数日後...

この家の購入は重要です。ここで私たちは本当に偉大なことをやる! この場所は今日からポルタレソレ(太陽の扉)と呼ばる。

万歳!

おめでとう!

ママ、ママ、掘ってもいい? 洞窟をつくりたいな!

ラファエラ、いい子にしてね、さわらないでね!

この子は間違っていないよ...常に子供たちが言うことを聞きなさい、彼らはとてもいい情報を教えてくれることがある。

アルド、私たちの女の子の話を聞いた? 掘りたいなんて、変な考えね!

次号、そしてついに偉大なことにとりかかります...